

# KENWOOD

CDレシーバー

## RX-550CD

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド  
〒150 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台3-17-9  
（大阪）電話(06)357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）  
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

© B64-1063-00(JW)

# CONTENTS

●安全上のご注意	3
●使用上のご注意	8
●操作のしかた	
ALL MODE	10
TUNER MODE	14
CD MODE	16
REMOTE CONTROL MODE	18
接続のしかた	20
取り付けかた	22
故障かなと思ったら	23
保証とアフターサービス	24
仕様一覧	25

本取扱説明書の表示は説明用に作成したものです。実際とは異なることがあります。

## 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。  
お読みになった後は必要などきにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について  
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。  
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 警告



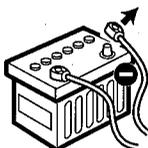
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



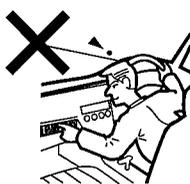
禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作の妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



## 警告



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

## 警告



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

実施



運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

実施

- 各種設定
- 各種調整



ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

禁止



万一、<異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど>異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売店>にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

実施



製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

禁止



修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

実施

## 注意



カセットテープ挿入口やディスク挿入口に指を入れないでください。怪我をすることがあります。

禁止



カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

実施



ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをするおそれがあります。

禁止



液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。

禁止



本製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。

注意



リモコンには指定以外の電池を使用しないでください。また、電池の入れ替えは極性に注意し指示通りにおこなってください。乾電池の破裂、液漏れなどにより、火災や怪我の原因となることがあります。

禁止



本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

禁止

# 使用上のご注意

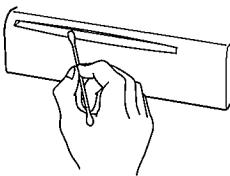
## 取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

## セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のもののでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、時々掃除してください。ホコリがたまった状態でCDを挿入するとCDにキズが付くことがあります。



## 結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部に露(水滴)がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなることがあります。

このような場合は、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

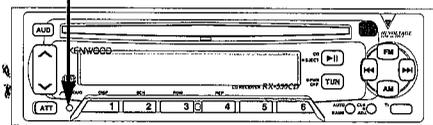
## CDの使用

本機ではディスクマーク  があるCDを使用してください。

## セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンを押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

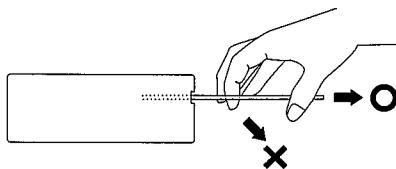
リセットボタン



## CDの取り出しかた

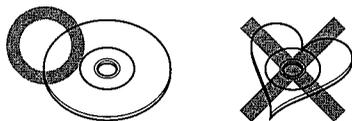
本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押ししながら引き出すとCD記録面に傷をつける原因となります。



## このようなCDは使えません

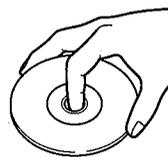
記録面(ラベル面の反対側)が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。また、特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



## CDの取り扱い

CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いは、記録面に触れないようにします。ラベルが印刷されていない面が、記録面です。



記録面はもちろん、ラベルが印刷されている面にも、紙テープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレנטラルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。

紙テープなど



糊のベタつき

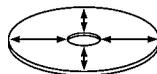
## CDの保存

直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高い場所には置かないでください。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

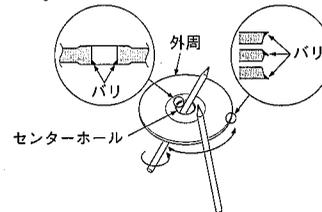
## CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふきとってください。従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



## 新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音とびの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

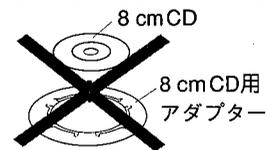


## CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シートなど)は故障の原因となるので利用しないでください。



市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。故障となる場合があります。



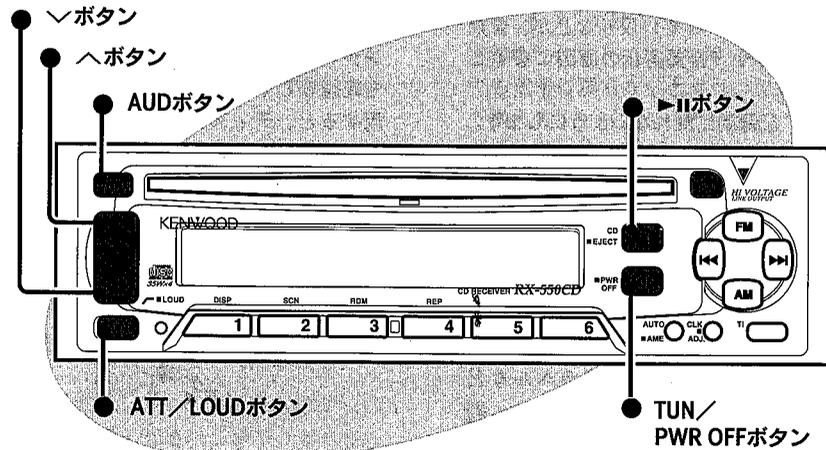
## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因になります。

# ALL MODE ALL MODE

ALL MODE

ALL MODE



## 1 電源オン - 電源を入れる -

● ラジオを聴くとき  
TUNボタンを押すとラジオがオンになります。

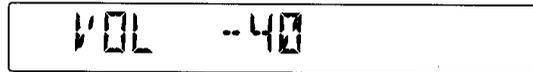
● CDを聴くとき  
CDのラベル面を上にしてCDを差し込むとCD演奏が始まります。  
CDが中に入っているときは、▶||ボタンを押すとCD演奏が始まります。

## 2 電源オフ - 電源を切る -

PWR OFFボタンを1秒以上押すとイルミネーションが消え電源がオフになります。

## 3 ボリューム - 音量を調整する -

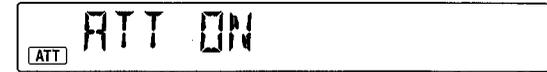
上ボタンを押すごとに音量が大きくなります。  
下ボタンを押すごとに音量が小さくなります。



ボリューム..... ~ 0

## 4 アッテネーター - 音量をすばやく小さくする -

ATTボタンを押すごとにアッテネーターがオン/オフします。  
オン中はATTインジケータが点滅して音量が瞬時に小さくなります。



## 5 ラウドネス - 小音量時にメリハリのある音質にする -

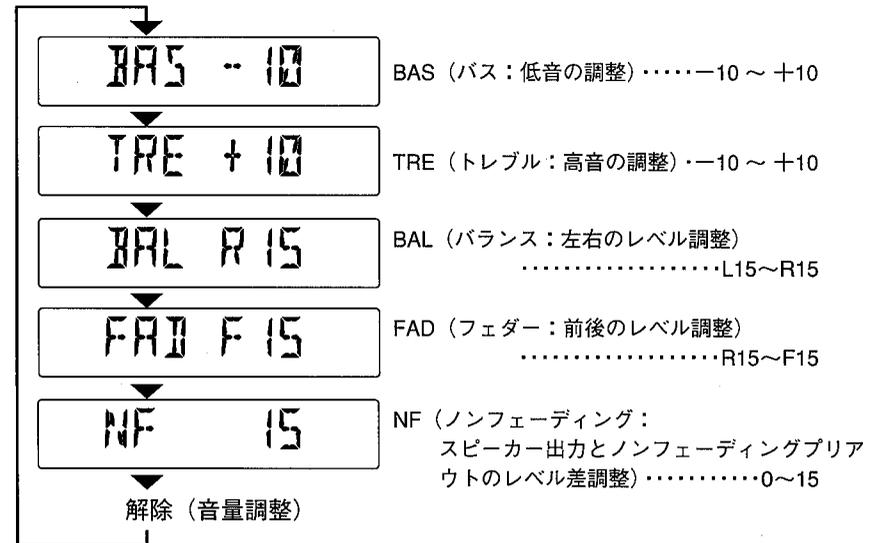
LOUDボタンを1秒以上押すごとにLOUDネスがオン/オフします。  
オン中はLOUDインジケータが点灯して高音と低音が強調された音質になります。



チューナーモード中は低音のみ強調された音質になります。

## 6 オーディオコントロール - オーディオの各種設定 -

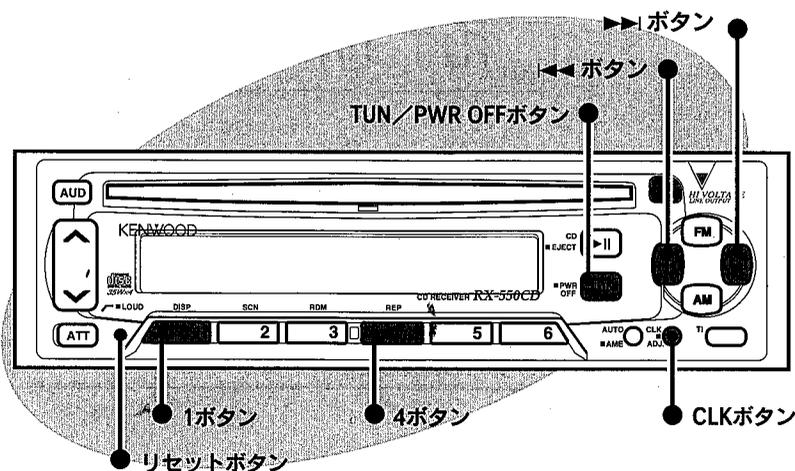
- AUDボタンを押すとオーディオ調整モードになります。
- AUDボタンを押すごとに調整モードが下記の順に切り替わります。
- 各モード中に上/下ボタンを押すと設定を変更できます。
- 5秒以上何も操作しないとオーディオ調整モードは自動的に解除されます。



- BAS (低音)、TRE (高音)はCD、チューナー (FM/AM) モードごとに別々に調整することができます。
- プリアウト切り替え (⇒12ページ) でNON-FADを選択していないときは、NF調整モードには切り替わりません。

ALL MODE

ALL MODE



7 プリアウト切り替え — プリアウトの出力方法を選ぶ —

1. PWR OFFボタンを1秒以上押し、電源をオフにします。
2. 1ボタンと4ボタンを押しながらTUNボタンを押します。
3. 「NON-FAD」または「REAR」と表示され、プリアウトの設定が切り替わります。  
「REAR」……………リアプリアウト選択時  
「NON-FAD」……………ノンフェーディングプリアウト選択時
4. この操作を繰り返すごとに設定が切り替わります。

NON-FAD (ノンフェーディング) とは、FAD (フェーダー) で前後にバランス調整してもレベルが変化しない出力です。

8 時計表示切り替え — 時計表示にする —

CLKボタンを押すごとに、各モード表示と時計表示が切り替わります。

電源オフ、およびイグニッションキーをオフにした場合は時計表示しません。

9 時計調整 — 時刻を合わせる —

1. CLKボタンを押して時計表示にします。
2. CLKボタンを押しながら◀ボタンを押すと“時”、▶ボタンを押すと“分”が調整できます。



10 システムリセット

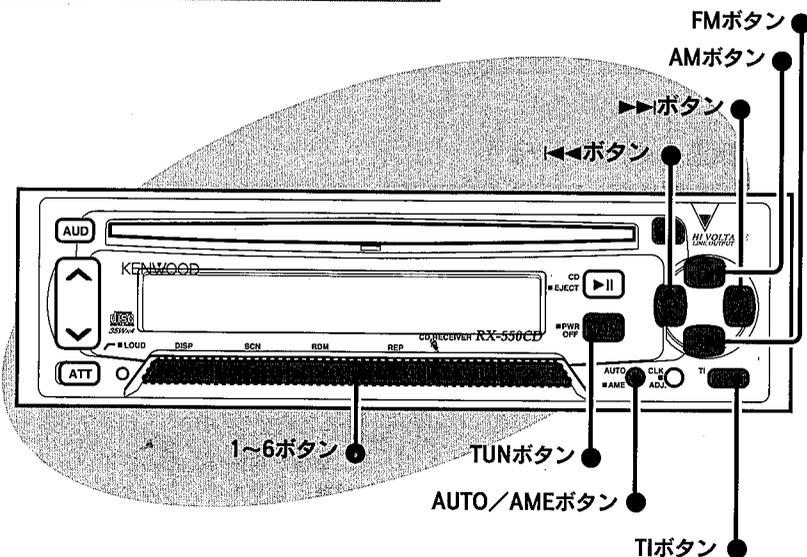
取り付けたときやバッテリー交換をしたとき、本機が誤動作したときにペンの先などでリセットボタンを押すとすべての設定が初期状態になります。このときメモリーした内容はすべて消去されます。

ALL MODE

# TUNER MODE

TUNER MODE

TUNER MODE



## 1 ラジオ オン - ラジオを聴く -

TUNボタンを押すとラジオがオンになります。

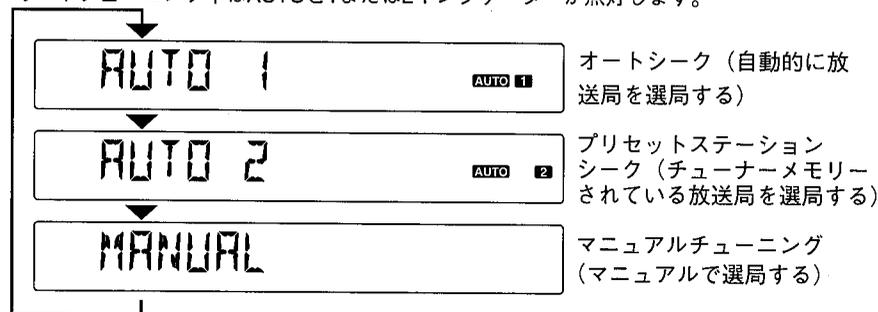
## 2 バンド切り替え - 聴きたいバンドを選ぶ -

FMボタンを押すごとにFMプリセットバンドが「FM I」、「FM II」、「FM III」に切り替わります。AMボタンを押すとAMプリセットバンドが「AM」に切り替わります。選んだバンドが表示されます。



## 3 オート/マニュアルチューニング 切り替え - 選局方法を設定する -

AUTOボタンを押すごとに選局方法が下記のように切り替わります。オートチューニング中はAUTOと1または2インジケータが点灯します。



## 4 チューニング - 放送局を探す -

- オートシーク選択時 (AUTOおよび1インジケータ点灯)  
▶▶ボタンを押すと周波数の高い方へ自動的に放送局を探して受信します。  
◀◀ボタンを押すと周波数の低い方へ自動的に放送局を探して受信します。
- プリセットステーションシーク選択時 (AUTOおよび2インジケータ点灯)  
▶▶ボタンを押すとメモリーナンバーの大きい方へ1ステップずつ変わります。  
◀◀ボタンを押すとメモリーナンバーの小さい方へ1ステップずつ変わります。
- マニュアルチューニング選択時 (AUTOおよび1、2インジケータ消灯)  
▶▶ボタンを押すと周波数の高い方へ1ステップずつ変わります。  
◀◀ボタンを押すと周波数の低い方へ1ステップずつ変わります。  
押し続けると連続して周波数が変わります。

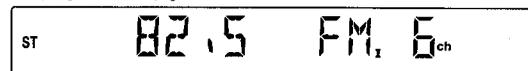
FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。



## 5 チューナーメモリー - 放送局をメモリーする -

放送局を受信中に1~6ボタンのいずれかを2秒以上押すと、押したボタンに今聴いている放送局がメモリーされ、ボタンNo.が表示されます。

各プリセットバンドにそれぞれ6局までメモリーできます。



## 6 オートメモリー - 自動的に放送局を探してメモリーする -

1. FMボタンまたはAMボタンを押してメモリーしたいプリセットバンドを選びます。
2. AMEボタンを2秒以上押すとchインジケータが点滅して、オートメモリーが始まります。

メモリーが完了すると自動的にオートメモリーは解除されます。

## 7 メモリー呼び出し - メモリーした放送局を呼び出す -

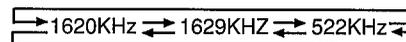
1~6ボタンのいずれかを押すとボタンNo.が表示され、メモリーした放送局を受信します。

## 8 交通情報 - 交通情報局を受信する -

- 交通情報をオン/オフする  
TIボタンを押すごとに交通情報がオン/オフします。オンにすると「TRAFFIC」と表示され、交通情報局を受信します。



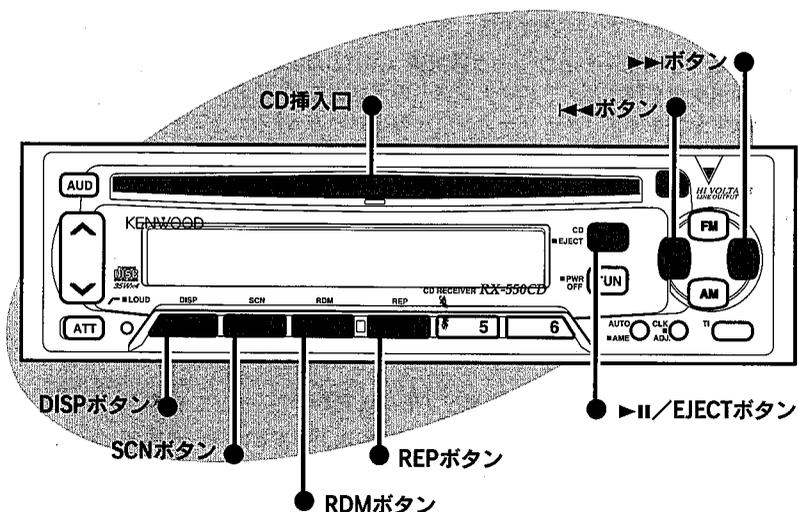
- 周波数を切り替える  
▶▶または◀◀ボタンを押すごとに周波数が下記のように切り替わります。



- 交通情報はどのソースモードからでも受信することができます。
- 交通情報オン中にソースモードを切り替えると、交通情報は解除されます。

## CD MODE

CD MODE



## 1 CDプレイ/ポーズ - CDを聴く -

CDのラベル面を上にしてCD挿入口に差し込むとCD演奏が始まります。CDが中に入っているときは▶再生ボタンを押すとCD演奏が始まります。CD-INとプレイインジケータ、ディスクサイズ表示が点灯します。演奏中に▶再生ボタンを押すとポーズ（一時停止）状態になり、ポーズインジケータが点灯して演奏時間表示が点滅します。



**注意** 8cmCD用のアダプターを使用すると誤動作や故障の原因になります。8cmCDはアダプターを使用せずそのまま差し込んでください。12cmCDと同じようにそのまま演奏できます。

## 2 イジェクト - CDを取り出す -

EJECTボタンを1秒以上押すとCDが出てきます。

**注意** ●CDが入っていない状態でEJECTボタンを押してもイジェクト機構は動作します。このときにCDをすぐにローディングしようするとCDに傷がつくことがあります。少し待ってからCDをローディングしてください。  
●CDが引き込まれてからすぐにイジェクトすると、再度CDを押しても引き込まれないときがあります。このようなときは一旦CDを抜いて、もう一度入れ直してください。

## 3 トラックサーチ - 聴きたい曲を選ぶ -

●先の曲の頭出しをする

- ▶▶ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
- ▶▶ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。

●手前の曲の頭出しをする

- ◀◀ボタンを1回押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
- ◀◀ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

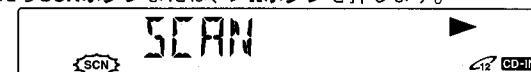
## 4 リピートプレイ - 同じ曲を繰り返し聴く -

REPボタンを押すごとにリピートプレイがオン/オフします。リピートプレイはREPインジケータが点灯して、聴いている曲を繰り返し演奏します。



## 5 スキャンプレイ - 聴きたい曲を探す -

SCNボタンを押すごとにスキャンプレイがオン/オフします。スキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯して、各トラックの先頭部分を次々と約10秒間ずつ演奏します。聴きたい曲が見つかったらSCNボタンまたは▶再生ボタンを押します。



すべての曲をスキャンすると自動的にスキャンプレイはオフになります。

## 6 ランダムプレイ - 自動的に曲を選ばせて演奏する -

RDMボタンを押すごとにランダムプレイがオン/オフします。ランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯して、自動的に曲を選んで演奏します。▶▶ボタンを押すと、次の曲を自動的に選んで演奏します。



## 7 タイム表示切り替え - 演奏時間表示を切り替える -

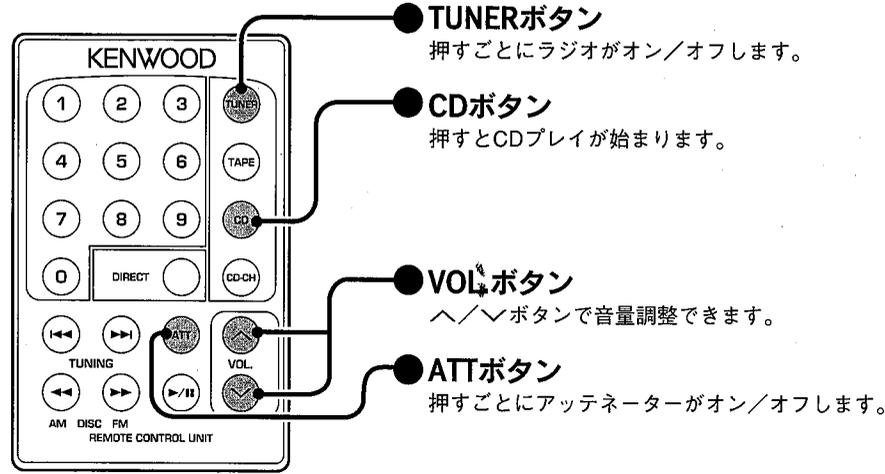
DISPボタンを押すごとに、トラック演奏時間「P-TIME」表示とトータル演奏時間「A-TIME」表示が切り替わります。

# REMOTE CONTROL MODE

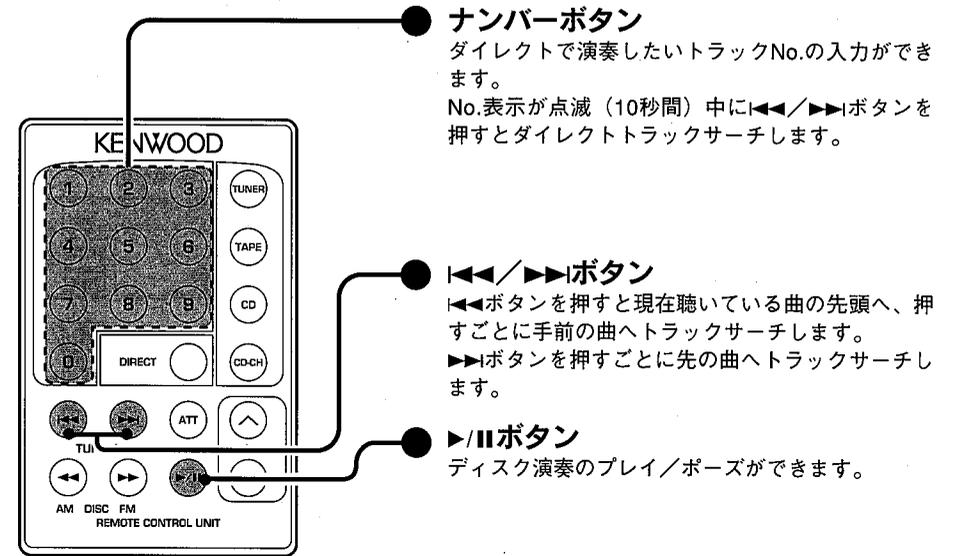
(別売のリモコン“KCA-R4”を使用するとリモコンから本機を操作することができます。)

REMOTE CONTROL MODE

## ■ ALL MODE

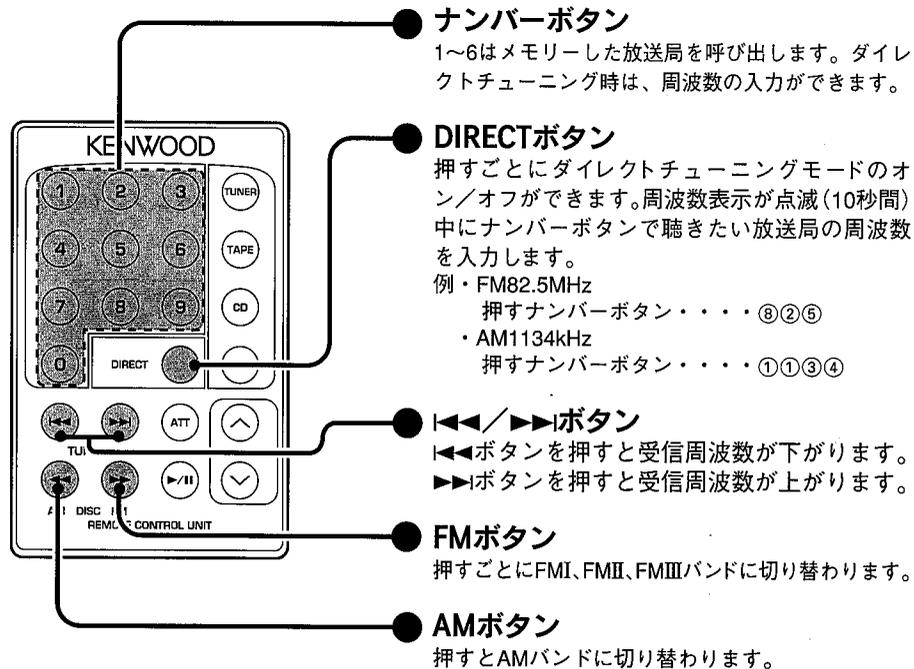


## ■ CD MODE



REMOTE CONTROL MODE

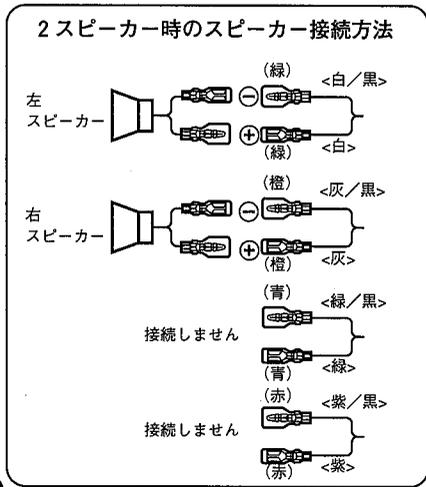
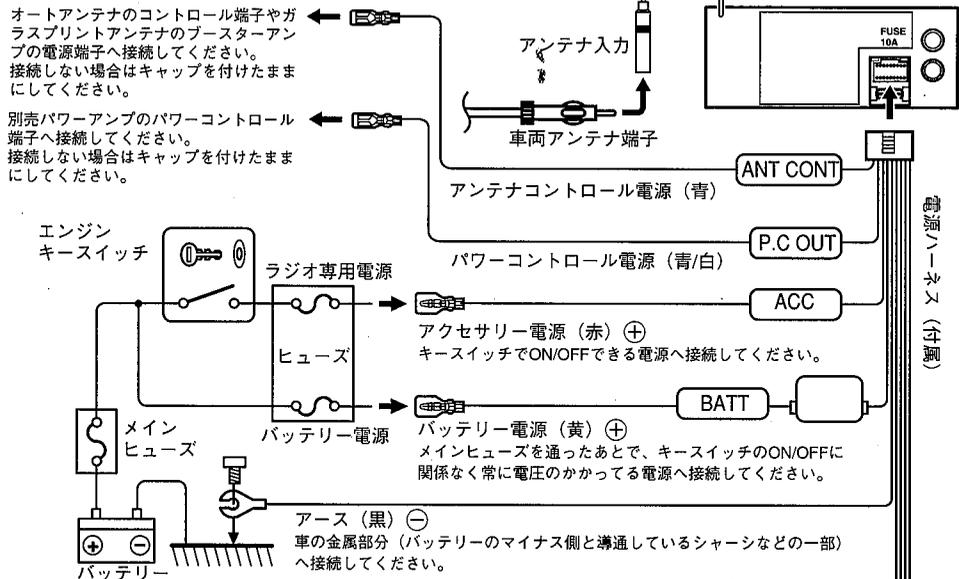
## ■ TUNER MODE



# 接続のしかた

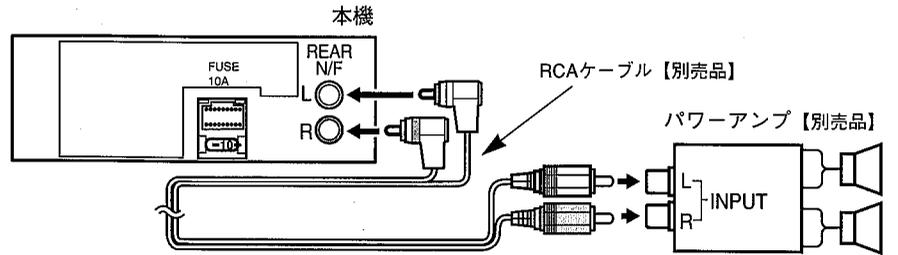
**!** 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

- 実施**
1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
  2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
  3. 電源ハーネスのアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）を順に接続します。
  4. 電源ハーネスのコネクターをRX-550CDに接続します。
  5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
  6. リセットボタンを押します。



## ● プリアウト端子の接続

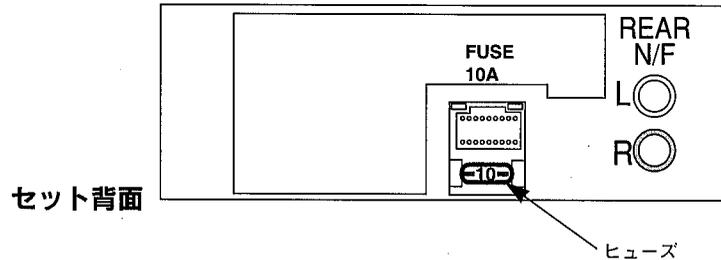
別売のRCAケーブルを使用して、パワーアンプに接続します。



プリアウト端子からは、操作確認音（ピープ音）は出力されません。

## ● ヒューズ交換のしかた

ヒューズが切れた場合はコードがショートしていないことを確認後、セット背面に表示してある容量と同じ新しいヒューズと交換してください。

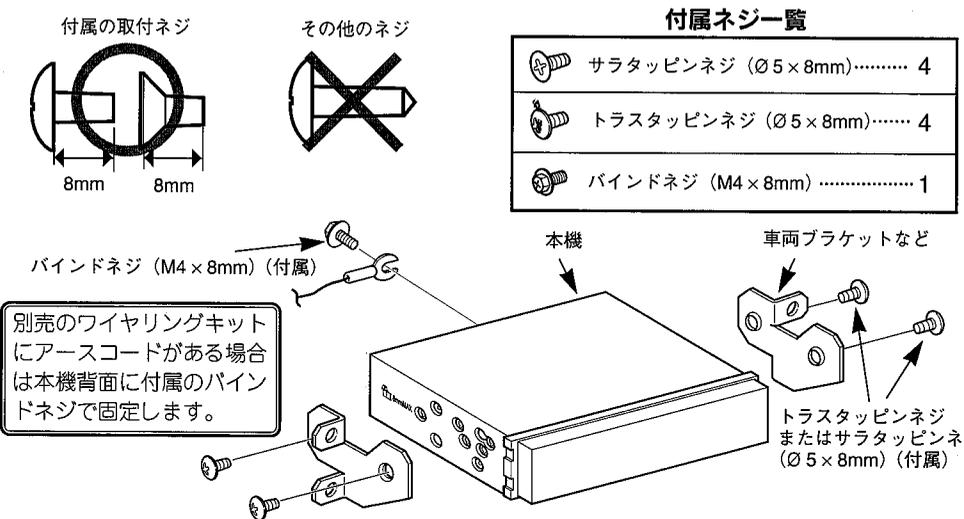


ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。  
**注意** 規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

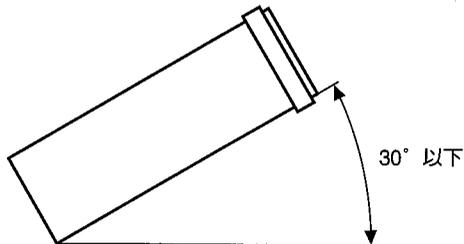
# 取り付けかた

付属のネジ (Ø5×8 mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

**注意** ●取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。  
 付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。  
 また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。  
 ●取り付け前にCDの動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/イジェクトをおこなってください。



**注意** 本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。



別売のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

# 故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒューズが切れている。</li> <li>入・出力/電源コードが間違っていて接続されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コード類がショートしていないことを確認後、所定容量のヒューズと交換してください。</li> <li>"接続のしかた(⇒P.20)"を見て正しく接続してください。</li> </ul>
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>アッテネーターがONになっている。</li> <li>音量が最小になっている。</li> <li>フェダー、バランスが片側に片寄せ設定になっている。</li> <li>スピーカーコードが間違っていて接続されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アッテネーターを解除してください。</li> <li>音量を適度に上げてください。</li> <li>フェダー、バランスを調整してください。</li> <li>"接続のしかた(⇒P.20)"を見て正しく接続してください。</li> </ul>
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量が大きすぎる。</li> <li>スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいます。</li> <li>スピーカー配線が間違っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正音量で使用してください。</li> <li>スピーカー配線をチェックしてください。</li> <li>スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。</li> </ul>
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。⇒P.8
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車のアンテナが伸びていない。</li> <li>アンテナコントロール電源が接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナを十分伸ばしてください。</li> <li>"接続のしかた(⇒P.20)"を見てアンテナコントロール電源を接続してください。</li> </ul>
CDが入らない	すでにCDが入っている。	すでに入っているCDを取り出してから入れてください。
CDを入れてもすぐ出てしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDが裏返しになっている。</li> <li>CDが異常に汚れている。</li> <li>結露している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラベル面を上にして入れなおしてください。</li> <li>"CDのお手入れ(⇒P.9)"を見てクリーニングしてみてください。</li> <li>しばらく、放置してから使用してください。⇒P.8</li> </ul>
音が飛んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り付け角度が、30°を越えている。</li> <li>取り付けが不安定になっている。</li> <li>CDに傷や汚れなどが付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>30°以内の角度に調整してください。</li> <li>しっかりと固定してください。</li> <li>停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、CDの問題です。"CDのお手入れ(⇒P.9)"を見てクリーニングしてみてください。</li> </ul>
音質が悪い(再生中ノイズが出る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>CD自身の音質。</li> <li>CDに傷や汚れなどが付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のCDを再生して問題がなければCD自身の音質です。</li> <li>"CDのお手入れ(⇒P.9)"を見てクリーニングしてみてください。</li> </ul>
選曲動作をしても目的の曲にならない。	ランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイモードを解除してください。⇒P.17
エンジンキーをOFFにすると、メモリー内容が消えてしまう	バッテリー電源が所定の場所に接続されていない。	"接続のしかた(⇒P.20)"を見て正しく接続してください。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

### ●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。  
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

### ●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。  
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

●**技術料**: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

●**部品代**: 修理に使用した部品代です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

# 仕様一覧

## FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:26 dB)	0.7 $\mu$ V / 75 $\Omega$
S/N 46 dB感度	1.6 $\mu$ V / 75 $\Omega$
周波数特性 ( $\pm 3.0$ dB)	30 Hz ~ 15 kHz
S/N比 (dB)	73 dB (MONO)
選択度 ( $\pm 400$ kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	35 dB (1 kHz)

## AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)
感度 (S/N:20 dB)	25 $\mu$ V

## CDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード, $\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500 ~ 200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz ~ 20 kHz ( $\pm 1$ dB)
高周波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比 (dB)	93 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	85 dB

## オーディオ部

最大出力	35 W $\times$ 4
定格出力	20 W $\times$ 4 (4 $\Omega$ , 30 Hz ~ 20 kHz, 1 % THD)
トーンコントロール (バス)	100 Hz $\pm 10$ dB
トーンコントロール (トレブル)	10 kHz $\pm 10$ dB
プリアウトレベル	1800 mV / 10 K $\Omega$
プリアウトインピーダンス	600 $\Omega$ 以下

## 電源部

電源電圧	14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流	10.0 A

## 寸法・質量

埋込寸法 (W $\times$ H $\times$ D)	178 $\times$ 50 $\times$ 164 mm
質量 (重さ)	1.5 kg

## 付属部品

電源ハーネス	1本
サラネジ ( $\phi 5 \times 8$ mm)	4本
トラスネジ ( $\phi 5 \times 8$ mm)	4本
バインドネジ (M4 $\times$ 8 mm)	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。